

1. 基本情報（令和5年3月時点）

人口	1,453,956人	保護率	2.78%
----	------------	-----	-------

（人口：令和3年10月1日時点）

2. 支援状況（令和3年度）

新規相談受付件数（人口10万人当たり）	20.9件／月				
プラン作成件数（人口10万人当たり）	15.3件／月				
就労支援対象者数（人口10万人当たり）	13.5件／月				
就労・増収率（%）	42.8%				
任意事業等の実施状況（令和5年度（予定））					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
○	○	○	○	×	○

3. 事業の概要等（令和5年度）

実施方法	<p>★ホームレス緊急一時宿泊事業（シェルター事業）</p> <p>○ホテル・旅館（有限会社）</p> <p>●ホテル（株式会社）（⇒新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて実施）</p> <p>○福祉施設の空床（社会福祉法人 桃林会）</p> <p>★ホームレス自立支援事業（ホームレス自立支援センター）</p> <p>○自立支援センター（ソーシャルサービス協会ワークセンターに委託）</p>
事業概要	路上生活から脱却し、自立を目指すホームレスに対して、宿泊場所を提供する。
事業費	<p>★ホームレス緊急一時宿泊事業（シェルター事業）</p> <p>136,364千円</p> <p>★ホームレス自立支援事業（ホームレス自立支援センター）</p> <p>49,096千円</p>
その他特記事項	※ ホームレス緊急一時宿泊事業（シェルター事業）については、別途、訪問相談事業をソーシャルサービス協会ワークセンターに委託し、実施している。

4. 事業の立ち上げプロセス

開始前

新型コロナウイルス感染症による経済情勢の悪化に伴い、離職や廃業の増加が見込まれる中、住居を失う者が増加することが想定された。そのため、既存のホームレス緊急一時宿泊事業では、居室数及び支援体制が不十分になることが懸念された。
（「3. 事業の概要等 実施方法★ホームレス緊急一時宿泊事業（シェルター事業）●ホテル（株式会社）」について記載）

関係機関との協議
【2ヶ月前】

- 予算規模及び職員（委託）の配置等の検討
利用が見込まれる支援対象者数から予算規模及び支援を行う職員（委託）の配置などを検討
- 関係機関との連携方法の調整
食事の提供方法や区役所・支所との連絡方法などを調整
- 運用マニュアルの作成
上記を踏まえ、マニュアルを作成し、支援の流れを整理

庁内の財政部局等との調整・広報
【1. 5ヶ月前】

- 予算の確保
新型コロナウイルス感染症の拡大に係る財源の確保を検討
- 広報
当該事業の実施及び事業者選定のプロポーザルの実施に関する広報

委託先の決定
【1ヶ月前】

- プロポーザルの実施及び事業者の決定
- 各区役所・支所へのマニュアル周知
- 実施に向けた体制作り
 - ・施設内のコロナ対策
 - ・施設内の面談場所の確保 など

令和2年5月 事業開始

事業実施

- 令和2年度実績
実人数59名利用、延べ宿泊人数1,279名
- 令和3年度実績
実人数63名利用、延べ宿泊人数5,033名